

授業改善プラン

1年 教科（音楽）

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

【目的】

- 生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
- 生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

観 点	1・2学期		3学期
	課題分析	具体的な改善プラン	改善プランの評価 来年度に向けて
音楽への関心・意欲・態度	○音楽を苦手と感じながらも、頑張ろうという姿勢の生徒が多くいる。 ▲男女で声量の差がある。発言をする生徒が偏ってしまうことがある。	より主体的な活動になるように、意見を発表する活動を増やす。	全員が意見を発表する活動を増やした。
音楽表現の創意工夫	○アドバイスをすると、表現を工夫しようとする姿勢が見られた。 ▲楽譜をもとに自分自身で考え、表現を工夫させる力を付けたい。	発問を工夫し、表現の方法を自分自身で考えられるようにする。	歌唱表現の方法を主体的に考えるための適切な発問を心がけたが、教員主導の授業になりがちだった。歌唱が苦手と感じる生徒の指導法を引き続き考えていく。
音楽表現の技能	○声を出そうと意欲的であった。よりよい表現を追い求める姿勢が身に付いてきた。 ▲表現の幅をさらに広げたい。意欲的に取り組んでいるが技能を習得するまでに時間がかかる。	範唱を聴いて学ぶ時間を増やす。息の使い方や体を使って声を出す方法を指導し、実践できるような活動を行う。	範唱を聴いて自分の歌につなげようとする生徒が増えた。技能が向上し、声量が増した。
鑑賞の能力	○音楽を聴き、自分の言葉で感じたことを表現できる。 ▲ワークシートの取り組みに差があった。	聴くべきポイントを絞り、記入しやすいワークシートを作成する。	聴くべきポイントを絞り、記入しやすいワークシートを作成できた。
授業改善の検証方法	定期テスト、ワークシート、授業への取り組み姿勢など	定期テスト、ワークシート、授業への取り組み姿勢など	定期テスト、ワークシート、授業への取り組み姿勢など

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	2学期までの 成果と課題	1年間の成果と 今後の課題
自分の力でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性 のある指導を目指して～	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽部による訪問演奏（交流） ・学芸会前の授業参観（連携） 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽会前に小学校の音楽専科の先生をお呼びし、全学年の授業で歌唱指導をしていただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言発令のため訪問演奏は中止となったが、発表の内容を動画にまとめて小学生に見てもらうことができた。 ・授業参観を行い小学生の様子を知ることができた。学芸会前にアドバイスができた。 ・来年度は交流する機会を増やしたい。

授業改善プラン

2年 教科（音楽）

【目的】

- 生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
- 生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

観 点	1・2学期		3学期
	課題分析	具体的な改善プラン	改善プランの評価 来年度に向けて
音楽への関心・意欲・態度	○歌唱活動が好きな生徒が多い。音楽を苦手と感じながらも、頑張ろうという姿勢の生徒が多い。 ▲発言をする生徒が偏ってしまうことがある。	より主体的な活動になるように、意見を発表する活動を増やす。	全員が意見を発表する活動を増やした。
音楽表現の創意工夫	○アドバイスをすると、表現を工夫しようとする姿勢が見られた。 ▲楽譜をもとに自分自身で考え、表現を工夫させる力をつけたい。	発問を工夫し、表現の方法を自分自身で考えられるようにする。	歌唱表現の方法を主体的に考えるための適切な発問を心がけたが、教員主導の授業になりがちだった。歌唱が苦手と感じる生徒の指導法を引き続き考えていく。
音楽表現の技能	○声を出そうと意欲的であった。よりよい表現を追い求める姿勢が身についてきた。 ▲表現の幅をさらに広げたい。意欲的に取り組んでいるが技能を習得するまでに時間がかかる。	範唱を聴いて学ぶ時間を増やす。息の使い方や体を使って声を出す方法を指導し、実践できるような活動を行う。	範唱を聴いて自分の歌につなげようとする生徒が増えた。技能が向上し、声量が増した。
鑑賞の能力	○音楽を聴き、自分の言葉で感じたことを表現できる。 ▲ワークシートの取り組みに差があった。	聴くべきポイントを絞り、記入しやすいワークシートを作成する。	聴くべきポイントを絞り、記入しやすいワークシートを作成できた。
授業改善の検証方法	定期テスト、ワークシート、授業への取り組み姿勢など	定期テスト、ワークシート、授業への取り組み姿勢など	定期テスト、ワークシート、授業への取り組み姿勢など

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	2学期までの 成果と課題	1年間の成果と 今後の課題
自分の力でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性 のある指導を目指して～	・音楽部による訪問演奏（交流） ・学芸会前の授業参観（連携）	・音楽会前に小学校の音楽専科の先生をお呼びし、全学年の授業で歌唱指導をしていただいた。	・緊急事態宣言発令のため訪問演奏は中止となったが、発表の内容を動画にまとめて小学生に見てもらうことができた。 ・授業参観を行い小学生の様子を知ることができた。学芸会前にアドバイスができた。 ・来年度は交流する機会を増やしたい。

授業改善プラン

3 年 教科 (音 楽)

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

【目的】

- 生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
- 生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

観 点	1・2学期		3学期
	課題分析	具体的な改善プラン	改善プランの評価 来年度に向けて
音楽への関心・意欲・態度	○意欲的に授業に取り組んでいる。音楽を苦手と感じながらも、頑張ろうという姿勢の生徒が多い。 ▲集中力が長く続かない。	授業規律を正し、より主体的な活動になるように、意見を発表する活動を増やす。	集中力がつき、自分から意見を述べる生徒が増えた。特に歌唱活動に積極的になった。
音楽表現の創意工夫	○アドバイスをすると、表現を工夫しようとする姿勢が見られた。 ▲楽譜をもとに自分自身で考え、表現を工夫させる力をつけたい。	発音を工夫し、表現の方法を自分自身で考えられるようにする。	歌唱表現の方法を主体的に考えるための適切な発音を心がけたが、教員主導の授業になりがちだった。歌唱が苦手と感じる生徒の指導法を引き続き考えていく。
音楽表現の技能	○声を出そうと意欲的であった。よりよい表現を追い求める姿勢が身に付いてきた。 ▲表現の幅をさらに広げたい。意欲的に取り組んでいるが技能を習得するまでに時間がかかる。	範唱を聴いて学ぶ時間を増やす。息の使い方や体を使って声を出す方法を指導し、実践できるような活動を行う。	範唱を聴いて自分の歌につなげようとする生徒が増えた。技能が向上し、声量が増した。
鑑賞の能力	○音楽を聴き、自分の言葉で感じたことを表現できる。 ▲長い時間の鑑賞が苦手である。ワークシートの取り組みに差があった。	聴くべきポイントを絞り、記入しやすいワークシートを作成する。	聴くべきポイントを絞り、記入しやすいワークシートを作成できた。
授業改善の検証方法	定期テスト、ワークシート、授業への取り組み姿勢など	定期テスト、ワークシート、授業への取り組み姿勢など	定期テスト、ワークシート、授業への取り組み姿勢など

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	2学期までの 成果と課題	1年間の成果と 今後の課題
自分の力でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性 のある指導を目指して～	・学会前の授業参観(連携)	・音楽会前に小学校の音楽専科の先生をお呼びし、全学年の授業で歌唱指導をしていただいた。	・授業参観を行い小学生の様子を知ることができた。学会前にアドバイスができた。 ・来年度は交流する機会を増やしたい。